

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)			
事務事業名	春国岱原生野鳥公園管理事業	事業番号	215	
重点プロジェクト	☒ 該当 ☐ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3 自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代で引き継ぐまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室市民、観光客を含む利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	①春国岱周辺の環境整備 ②春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターの適正な運営	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	自然保護思想の高揚や自然資源の持続的な利用が図られ、自然環境の保護保全につながるとともに、観光資源としてのより一層の活用が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H29)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	市民との連携・協働による自然環境の保護・保全活動の参加者数	59人	68人	105人	100人	100人	101人	70人	100人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			R5予算		R5決算		R6予算		
			17,232		16,575		17,115		
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他		17,232		16,575		17,115		
	一般財源		0		0		0		
人員(人工)			0.25		0.25		0.25		
職員人件費(=人員(人工)× 7,455 千円)			1,863		1,863		1,863		
総事業費(=事業費+職員人件費)			19,095		18,438		18,978		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			189		182				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	世界有数の野鳥の楽園である「風蓮湖・春国岱」は、野鳥観察や自然環境教育の場として利用されていることから、春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に努めることが必要とされている。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	春国岱周辺の環境整備等を実施することにより、より一層の自然環境と調和し安心かつ快適に観光できる基盤の整備促進に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 春国岱原生野鳥公園管理ネイチャーセンターの管理については、設置者である市が実施すべきである。なお、運営業務については、既に民間へ委託している。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業内容の中で見直しを行う必要はない。ただし、関係団体や市民ボランティア団体等とより一層の連携を図り、事業の充実について検討することは可能と考えられる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 毎年、各委託業務内容については精査しているところ。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 春国岱周辺の貴重な自然環境を保持し、自然保護思想の高揚を図るため、自然教育の場として春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターが設置されている。その中で、動植物の調査、自然保護等の指導、その他目的を達成するために必要なことを業務としており、他の事業と統合できる可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター条例第6条において、ネイチャーセンターの入館料を無料とする規定がある。なお、第8条において、施設の利用者の便宜を図るため、物販等の販売を営もうとする者について、施設の設置目的を妨げない範囲で使用の許可をすることができるとされ、第12条にて使用料の定めを設けているところである。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月